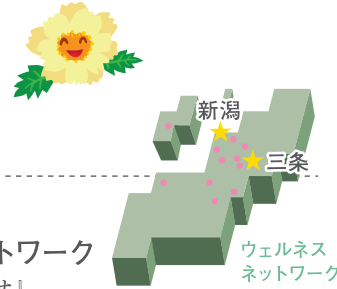


CONTENTS 5・6月 ALL 32PAGES

PAGE 02
協会NOW
『2022年 新年度の挨拶』

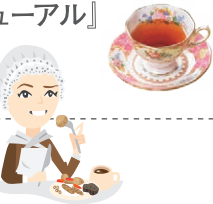


PAGE 03-04
医学協会の新たなウェルネスネットワーク
『2ヵ所の新規総合健診センター開設のお知らせ』
新潟ウェルネス健康増進センターと新潟ウェルネス県央センター

PAGE 05-10
医学協会の確かな安心 <シリーズVol.30>
『2020年度最新データによる医学協会の人間ドック・
がん検診の結果と当会の精度向上に向けた取り組み』



PAGE 11-16
2022年4月1日から『新すこやか弁当リニューアル』
腸内環境を健康に保つ、腸活弁当
メニュー特別バージョン版「ハイティーンはいかが!」



PAGE 17-20
検査部通信SPECIAL
高血糖は甘くない!?!たとえ自覚症状がなくても「いつ行くの?」「今でしょ!」

PAGE 21-24
50歳からの生活習慣改善 <vol.15>
ご夫妻に管理栄養士がアドバイス「塩分過多と便秘を改善する食事」



PAGE 25-28
金さんの元気のでるメンタルヘルス講座
<シリーズVol.16>『認知の歪みの修正』
柔軟な発想が豊かに生きる道



PAGE 29-30
表紙の写真「華麗な競演、東公園ぼたん百種展示園」
編集者からのメッセージ



医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well (健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけではなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ（あるいは、改善のために積極的に活用）に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



THE 60 YEAR

働く人たちの健康を守る健診機関として1962年に発足した医学協会は本年、創立60周年を迎えます。

当会では、本年も『新型コロナウイルスへの徹底した感染対策の実施』として、当会の健診・人間ドック施設と病院・老健施設が感染の場とならない様、防御体制の強化と一層の環境整備に取り組みます。受診控えをせず、安心してご受診ください。

創立60周年を迎えて

(一社)新潟県労働衛生医学協会
会長 佐藤 幸示



おかげさまで医学協会は、今年、創立60周年を迎えることができました。

昭和37年5月に、わずか8名の職員でスタートした当会も、今では1,000名ほどの大所帯となり、ご受診をいただいている方々も72万人を超え、およそ新潟県民の3人に1人の方から、何らかの形で当会の検査をお受けいただいていることとなります。これも一重に、皆様方の絶大なご支援、ご愛顧の賜物と、改めて深く感謝申し上げます。

創立60周年に当たり、コロナの収束が見通せない中ではありますが、記念事業として、新たに2ヵ所の総合健診センターの開設を目指してまいります。

1ヵ所目は、黒埼にあります新潟ウェルネスの敷地内に、延床面積3,000平米、ドック75名、健診250名を受け入れる、最先端のMRI、CTC等を装備した総合健診センターを、もう1ヵ所は、三条市の旧競馬場跡地1,700坪の敷地に巡回検診基地を併設した、黒埼と同等の総合健診センターを、それぞれ新設いたします。今年中に着工し、来年冬頃に完成の予定となります。

コロナ後の「新たな日常」にフィットしつつ、時代の要求に対し、常に一步先を行く、しっかりとした健康管理システムを築き上げてまいります。

創立60周年の記念の年にあたり、皆様から、常にワンランク上の「確かな安心と信頼」をいただける医学協会となりますよう、職員一同精進しますことを、お誓いして、新年度の挨拶といたします。

新潟ウェルネス 健康増進センター

～新施設整備のお知らせ～

最先端のMRI、CTC等を装備

新たなウェル
最新の設備と最
新規オープン20

ネスネットワーク
高の受診環境で
23年を目指し着工

感染対策・
プライバシーに
配慮した
施設環境

新潟ウェルネス県央



新潟市西区北場1185-3
(新潟西バイパス小新ICから車で5分)
※新潟ウェルネスに隣接して新設されます。

健診と
人間ドックを
毎日(月～土)
実施

健診と
人間ドック
フロアの男女
エリア分け

健診、
がん検診、
女性検診の
受け入れの
充実



三条市下須頃
(燕三条駅より車で5分・旧競馬場跡地)
※道路を隔て、ミズベリング三条と三条乗馬クラブがあります。

NW 新潟ウェルネス お客様の満足度の高い検査精度や サービスの提供を行う2施設が開設いたします!!